

# 平成 29 年度事業報告

平成 29 年 4 月 1 日から  
平成 30 年 3 月 31 日まで

## I 概 要

平成 29 年度我が国の経済対策は、回復の方向へと向かいました。政府の「ニッポン一億総活躍プラン」において、保育等の就業機会の提供に積極的に取り組むシルバー人材センターへの重点的な財政支援を、介護周辺業務や軽易な介護業務に関しては、センターを通じた高齢人材を活用することとしておりまた、「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」の改正に伴い派遣期間 3 年の制限が 60 歳以上の労働者は対象外となったことから、派遣期間の制限廃止のない派遣事業に本格的に取り組めるようになりました。それと「高齢法」の改正により労働者派遣事業及び有料職業紹介事業を行う場合において、臨時的かつ短期的な就業及びその他の軽易な業務に係る就業に加えて、業種等の指定に加え、指定業種については、週 40 時間までの就業が可能となりました。また、平成 28 年度に引き続き、センター関係予算が増額され、平成 21 年度の「事業仕分け」以前の水準にほぼ戻ったことは、シルバー人材センター事業に対する大きな期待の表れであると受け止め、生涯現役社会の担い手であることを十分認識しつつそれぞれの役割と特性に応じた事業に取り組んで参りました。

## II 事業実績

会員数においては、数値目標 400 名のところ 320 名であり、その差は 80 名。

今年度も公共機関をはじめ会員募集用ポスターを作成し、市内のあらゆる場所へ掲示依頼をおこないましたが当初の数値目標は高く、結果として未達成となりました。また、請負事業実績は、190,734,713 円となり、前年度の実績に対し 1,086,907 円の減少となりました。

その背景には、雇用延長等の煽りを受け入会者数の増加を見込めなかったこと、人員の配置ができなかったこと、悪天候が続き、予定していた屋外作業が十分にできなかったこと、など様々な原因が考えられます。

一方、派遣事業実績は 6,996,521 円となり、前年度の実績に対し 846,537 円の増額となりました。

さらに平成 29 年度事業に掲げた多くの事業に対し努力致しましたが実施に至らなかった事業につきましては、ポイント制度などが挙げられます。

中期基本計画については、草案の立案は終了しました。今後は県の方向性

[テキストを入力]

(埼玉県シルバー人材センター連合が作成中)を見定め、すり合わせを図り、策定を完結いたします。

また継続研究課題としては、休耕地を利用した「シルバーファーム羽生」、空き家を利用した「シルバーレストラン」、「移動販売」などの事業について引き続き調査研究を行ってまいります。

また、実施できたものとしては、「会員募集ポスターの作成・掲示」、「墓地管理等業務講習会」、「植木の剪定講習会」、「清掃講習会」「シルバードライブドック」「健康講座」「交通安全講習会」「安全パトロール」「チェーンソー講習会」などがあり、ボランティア活動としては、恒例の街なか清掃、キヤッセ羽生清掃活動、それと第7回となりました羽生市シルバー人材センターまつりにも多くの関係者の皆様方のご協力により盛大に開催されました。

また、新たに発足した女性の会「ひまわり倶楽部」も20名以上の参加者があり、当センターの規模から考えると、多くの事業を実施いたしましたが、30年度に向けて新たなる事業への挑戦を図って参ります。

### Ⅲ 平成29年度末集計

平成29年度末集計結果は以下のとおりです。

- |          |                                |
|----------|--------------------------------|
| ① 会員数    | 320名                           |
| ② 受託件数   | 3,432件                         |
| ③ 就業実人員  | 313名                           |
| ④ 就業延日人数 | 39,985名                        |
| ⑤ 就業率    | 97.8%                          |
| ⑥ 総契約金額  | 197,731,234円(うち派遣分 6,996,521円) |